**第１回実務委員会**

* **概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 1997-08-27 ~ 1997-08-30 | |
| 開催地 | 大韓民国 > 慶尚北道, 慶州現代ホテル (ダイアモンドホ―ル) | |
| 開催者 | 大韓民国 > 慶尚北道, 北東アジア地域自治体連合 | |
| 参加 | 4カ26自治75人 | |
| 中華人民共和国 | 黒龍江省、山東省、河南省 |
| 日本国 | 青森県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県 |
| 大韓民国 | 江原道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道、済州特別自治道 |
| ロシア連邦 | ブリヤート共和国、サハ共和国、ハバロフスク地方、アムール州、カムチャツカ地方、サハリン州 |

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  | | --- | | **▷北東アジア共同体のための連合の実践事業を模索。** | |  | | **▷自治団体別議案発表。（50案件）** | |  | | |  | | --- | | **▷経済通商、文化芸術、環境分野、一般交流分野など分野別討議。**  **▷当面の懸案を論議するため実務小委員会（ワーキンググループ）を構成。** •連合の連合共同の実践プロジェクト作成。  •事務局など連合運営体制の改編に関する論議。  •北朝鮮、モンゴル自治団体の連合への加入のための会員範囲拡大に関する論議。 | | |  | |

* **合意文**

1997年8月28日、北東アジア地域の共同発展をめざし、 世界平和へ貢献することを目的として結成された「北東アジア地域自治体連合」 加盟会員である中国、日本、大韓民国、ロシア連邦の自治体実務代表者たちが、 韓国慶尚北道慶州市で開かれた実務委員会議に参加した。

北東アジア地域は、世界経済権の中で経済中心地として発展を続けている。それと同時に、 地域内の環境保護と貿易障壁など共通の諸問題を解決するためには、 地域間の協調関係を結ぶことが強く求められている。

相互の開発と共通の繁栄が強く求められている。 こうした目的を達成するために、北東アジア地域自治体連合は文化、 芸術と経済・通商、交流、環境問題など７つの分野にわたる諸問題について、 「北東アジア共同体のための連合事業の模索」という主題のもと、 共同で取り組んでいくことについて論議が行われ、1996年に同意に至った。.

その結果、北東アジア地域自治体連合97年総会において、以下の内容について同意に至った。 また、全ての連合加入団体は、共同プロジェクトを円滑に達成するために共に努力していくべく結論に至った。

1. 文化芸術分野について

すべての会員自治団体は、各種フォーラム、博覧会、展示会および学術的研究活動に関連したすべての行事に積極参与し協力を行う。

2. 経済・通商分野について

連合は、ロシア連邦および中国の資源開発および投資が増大するよう協力を行う。 連合の会員自治団体が、一様に経済交流の促進を行い、 情報の共有ができるよう自治団体毎により具体的なプロジェクトの事業計画を事務局へ送付する。 それを元に会員間の連携機能を強化する。

3. 経済・通商分野について

環境保護という立場に沿って、全ての連合参加自治団体は、関連のある自治団体間による情報の交換、 技術交流など共同の研究などといった多くのプロジェクトを協力して行うこととする。

4. 交流一般分野について

事務局と4カ国の会員国代表地方自治体から成る運営委員会は、共同のプロジェクトのための組織と事務局の活動と組織設立などの問題を取りまとめる。準備委員会は1998年に開かれる総会にて報告を行い、また、モンゴルおよび北朝鮮地方政府が、次回会議の開かれる1998年よりの加入を目標と定めた。 この目標を達成させるため、ロシア極東地域自治団体と日本の鳥取県が中心となり、意を共にし推進させていくこととする。